



●質問 線路も道路も走れる「デュアル・モード・ビークル」を導入する予定はありませんか。

●回答 「デュアル・モード・ビークル」は大変興味深いシステムです。少子高齢化が進む中、地域の公共交通のあり方についても全体的に考える時期にきているので、そのひとつの可能性として今後研究していきます。

●質問 島鉄問題で、赤字補てんしてまで存続させる必要があるのですか。今決断しないと今後大きな財政負担となります。費用対効果を考えると到底無理では。

●回答 交通弱者の意見を全く無視することはできません。路線の存続については総合的に判断していきます。



●質問 4月からごみ袋を統一し、収集をしているところですか。ごみの出し方についても事前にチラシ等で周知しているの、ご協力をお願いします。

●質問 収集用のごみ箱が設置されていないところでは、クラス被害により生ゴミが散乱しています。衛生面、観光面においてマイナスになるので、ごみ箱の設置をお願いします。

●回答 ごみ袋については4月から統一されています。ごみ収集方式については、現在個別収集とステーション方式の2つがあるので、統一するため現在調査段階です。深江町についても設置場所を確認しながら検討していきます。

●質問 車からのポイ捨てや不法投棄が多い。防止対策や啓発の方法は考えていますか。

●回答 最終的にはモラルの問題になります。看板の設置や市民清掃の実施により意識の高揚を図っていきます。

●質問 南有馬では1年間医療機関にかからなかった場合、記念品をいただきますか。

●回答 最終的にはモラルの問題になります。看板の設置や市民清掃の実施により意識の高揚を図っていきます。

優良家庭表彰について

●質問 南有馬では1年間医療機関にかからなかった場合、記念品をいただきますか。

花苗等の無償配布について

●質問 世界遺産登録には、市民力も必要だと思います。現に原城跡周辺ではボランティアで花の植栽などを行っています。花苗等については、行政側で準備するなどの配慮をお願いします。

●回答 市の花「ひまわり」を、各地でボランティアの協力をいただきながら植栽するよう考えています。原城跡についても植栽できないか検討していきます。

市総合計画への掲載について

●質問 『世界遺産暫定リスト』へのミニネットされた経緯などを、分かりやすく市民に周知する必要があると思います。また、現在策定中の市総合計画に掲載してほしい。

●回答 南島原市にとってこの世界遺産登録をどう活用していくか、そのことが市の活力を引き出す最大の要素であると考えています。当然ながら総合計画においても、大きく取り上げていきます。

有馬商業高校跡地について

●質問 有馬商業高校跡地利用問題はどのような制度があったのですか。

●回答 県で農業大学校あり方検討委員会が立ち上げられており、(そこへ)市として議会のお力を借りながら、農

●質問 合併前には、はり・きゅう券を支給していた町があったが、その支給要件はどういうものだったのか。

●回答 合併前は会計区分のほか、条件も様々でした。現在は国保会計で実施しており、国保の被保険者の人で40歳以上を対象としています。

はり・きゅう券助成制度について

●質問 合併前には、はり・きゅう券を支給していた町があったが、その支給要件はどういうものだったのか。

●回答 合併前は会計区分のほか、条件も様々でした。現在は国保会計で実施しており、国保の被保険者の人で40歳以上を対象としています。



業大学校誘致について要望しているところですが、ただ委員会の結論は先送りとなっています。

●質問 農業大学校誘致のメリットや効果は何ですか。

●回答 島原半島は、県内の42%の農業生産を誇っている地域であり、食料生産基地として基盤整備を実施しています。農業大学校を誘致することにより、地域の活性化や雇用の増などの経済効果も期待されます。

市の計画について

●質問 南島原市のキャッチフレーズに対して、なにか具体的なソフト面の計画はありますか。

●回答 世界文化遺産の正式登録に向けて、今第一歩を踏み出したところで、観光客誘致のための仕掛けができるものと期待しています。

真砂について

●質問 今後の真砂の経営、運営はどうする予定ですか。

●回答 ふるさと振興公社とタイアップし、経営改善のため努力していきます。経費削減については努力の跡が見られるので、今後は集客にも力を入れていく予定です。

●要望 若者が定住できるような環境整備をしてほしい。

市民生活部関係

市民清掃について

●質問 口之津では、6月の第1日曜日を「防災の日」として、道路の草刈りや川のしゅんせつを行っていました。昨年は混合油だけの支給になりましたが、本年度の取り扱いはどうなりますか。

●回答 6月の第1日曜日を「市民清掃の日」とし、市民の環境意識の高揚を図っていきます。本年度は燃料代の他に、機械借上料や処分代なども予算化しています。

ごみ収集について

●質問 ごみステーション方式は、効率面では良いかもしれないがサービス面では低下するのでは。

●回答 布津、深江はステーション方式で収集、加津佐から有馬までは個別収集です。衛生経費の削減の観点からご理解をお願いします。諸条件についても考慮しながら実施していきます。

●質問 ごみステーション方式は決定的ですか。また、その場合、既存のゴミ箱は利用できるのですか。

●回答 布津、深江については現在、ステーション方式で収集しています。収集方式は5年以内に調整するようになっており、衛生経費削減の観点から平成23年度以降は個別収集を全廃した

福祉保健部関係

手話通訳者について

●質問 昨年タウンミーティングの際、手話通訳者設置の要望がありましたが、今回早速派遣していただき、迅速な対応に感謝します。今後、市の財政も厳しくなっていますが、通訳者養成のための支援策は考えていますか。

●回答 養成については、財政面も考えながら検討していきます。

福祉タクシーについて

●質問 昨年のタウンミーティングでタクシー券支給をお願いしていたが、その後どうなっていますか。

●回答 鋭意検討していますが、財源的なものを見だせていません。

●質問 市長になってから福祉タクシー券は廃止されたのですか。

●回答 合併協議会で廃止されています。もちろん必要性は感じていますが。

住民検診について

●質問 なぜ西有家地区の住民検診は有家会場で行われるようになったのですか。

●回答 以前は西有家役場で検診を行っていましたが、駐車スペース等の関係もあり、昨年度は有家の保健センタ

農林水産部関係

イノシシ被害対策について

●質問 イノシシ対策として、市から捕獲用のわなを貸し出しているが、貸し出しの基準はありますか。

●回答 わなの設置については助成の対象となっていますので相談ください。

●質問 イノシシの捕獲における費用はいくらですか。

●回答 捕獲したイノシシ1頭に対し、処分料として6000円を支払っています。

●質問 イノシシ捕獲用のわなを、個人において数多く設置しているようですが、市の指導ですか。

●回答 島原猟友会と委託契約を締結しており、適正な判断のもとに処理されていると思います。

●要望 机上の空論ではなく、農業を現場で見、現状に合う施策をお願いしたい。